

## 「はやぶさ」イトカワ接近時における広報活動

## Publication Activity in Itokawa approach phase of

# 寺園 淳也 [1]; 齋藤 潤 [2]

# Jun-ya Terazono[1]; Jun Saito[2]

[1] 宇宙航空研究開発機構; [2] 宇宙科学研究本部

[1] JAXA; [2] ISAS

<http://www.terakin.com>

昨年9~11月にかけて小惑星「イトカワ」へ接近した探査機「はやぶさ」は、その広報活動もかつてないものとなった。1つは、今回の「はやぶさ」接近が、日本の惑星探査史上はじめて、長期にわたる広報体制を必要としたこと。もう1つは、メディアや一般のサイトなどからの注目度が極めて高く、頻繁に記者会見やブリーフィングが開催され、その結果によりさらに広報の注目度が増すという結果を生んだことである。

JAXAにおける広報活動は、本社広報部とISASの広報室、そしてプロジェクトチームが共同で行ってきた。今回の講演では、特に9~11月の接近フェーズにおける広報活動について詳述し、今後増加すると思われる日本の惑星科学の長期的な広報体制がどのようにあるべきかについて提案する。